

令和3年1月28日

報道関係者 各位

バリアフリー教室の開催について

本市では、東京2020パラリンピック競技大会の事前キャンプ地としてドイツパラ陸上競技選手団をお迎えするため共生社会ホストタウンへの登録を行い、受け入れの準備等を進めているところであります。

このような中、共生社会に対する意識の向上と高齢者や障害者への配慮を学ぶために市職員等を対象とした研修会を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

開催にあたりましては、九州運輸局の主催により、熊本学園大学、島原鉄道株式会社及び島原市社会福祉協議会にもご協力いただいての開催となります。

記

1. 日 時 2月10日(水) 13時10分～
2. 場 所 市役所本庁舎2階 2A会議室
3. 受 講 者 令和2年度採用の常勤職員等の計20名程度
4. 内 容 別紙
5. 参 考 九州運輸局主催による開催としては、九州管内で初めてとなる自治体職員の研修とのことです。

有明海にひらく湧水あふれる 火山と歴史の田園都市 島原



担当：島原市スポーツ課 生涯スポーツ班
担当 中島 耕一
電話：0957-68-5474
E-mail：sports@city.shimabara.lg.jp



島原守護神 しまばらん

○ バリアフリー教室カリキュラム

実施場所： 島原市役所 会議室（2A）並びに 役所入口前正面広場
 実施日時： 令和3年2月10日（水） 13：10～15：30
 実施対象： 島原市役所職員及び島原鉄道(株)社員

スケジュール		
	1 班	2 班
13:10 (5分)	開講式（場所：会議室2A） ・主催者挨拶（九州運輸局交通政策部計画調整官） ・講師紹介並びにプログラム等説明	
13:15 (60分)	講話 「障がい者差別解消法とバリアフリー」について 先生との質疑応答（ディスカッション） 熊本学園大学社会福祉学部教授 兼 弁護士 東 俊裕 氏（ひがし としひろ）	
14:15 (5分)	休憩・移動・時間調整	
14:20 (35分)	障がい者等疑似体験・介助体験 場所：庁舎内 説明者：島原市社会福祉協議会 講評：東 俊裕 氏 ・市庁舎内で視覚障がい者（アイマスク）体験及び介助体験 並びに一部の対象者は車いす体験 （職員の方が怪我をしないように、また来庁者の邪魔にならないよう細心の注意を払う） ・2人1組で行う ・ペアを入れ替えて全身体験	バスの仕組み・バリアフリーについての説明 場所：役所入口前正面広場 説明者：島原鉄道（株） ・バスの仕組みについて説明 ・車いす介助実演（全員） ・バス利用時の視覚障がい者体験及び介助体験など （時間があれば）
15:25 (30分)	バスの仕組み・バリアフリーについての説明 場所：役所入口前正面広場 説明者：島原鉄道（株） ・バスの仕組みについて説明 ・車いす介助実演（全員） ・バス利用時の視覚障がい者体験及び介助体験など （時間があれば）	障がい者等疑似体験・介助体験 場所：庁舎内 説明者：島原市社会福祉協議会 ・市庁舎内で視覚障がい者（アイマスク）体験及び介助体験 並びに一部の対象者は車いす体験 （職員の方が怪我をしないように、また来庁者の邪魔にならないよう細心の注意を払う） ・2人1組で行う ・ペアを入れ替えて全身体験
15:30 (5分)	閉講式（場所：会議室2A） ・島原市社会福祉協議会・九州運輸局から所感表明 ・島原市（幹部）から講評	
15:30	後片付け	

2020年度 バリアフリー教室について

**九州運輸局 交通政策部
消費者行政・情報課**

目的

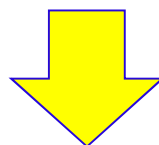
心のバリアフリー施策の推進

・「心のバリアフリー」とは

高齢者、障害者等の日常生活や社会生活における困難を自らの問題として認識し、その社会参加に積極的に協力する。
(心のバリアを取り除く)

・バリアフリー教室の開催

乗務員等を対象に、旅客施設や鉄道車両などを使用し、高齢者や障害者の疑似体験・介助体験を行う。
(学校にバスやタクシーを持ち込んで、小学生等向けの教室も実施している。)



体験を通じて、バリアフリーについての理解を深めると共に、ボランティアに関する意識を高め「心のバリアフリー」社会の実現を目指します。

概要

(1) 講習内容

① 講義

導入部として、バリアフリー法等の講義を行います。

② 実技

バスなどの車両や旅客施設などを使って以下のような体験を行います。

- ・車いす利用・介助体験
- ・視覚障害者疑似体験・介助体験
- ・高齢者疑似体験・介助体験

(2) 主催

国土交通省 九州運輸局・各運輸支局、各社会福祉協議会（共催）

(3) 後援・協力等

各自治体（県・市町村）、福祉団体、交通事業者 等

教室のイメージ(事業者向け)

(1) 講義

実技を行う前に導入部として、九州運輸局や外部講師等により、バリアフリー法や障害者差別解消法、接遇の必要性などについて講義を行います。



教室のイメージ(事業者向け)

(2)実 技

旅客施設や車両等を利用して、車いす、視覚障害者、高齢者の疑似体験・介助体験をします。



体験を通じて、障害者や高齢者の立場になって考えると同時に、そのサポート方法を学びます。

教室のイメージ(事業者向け)

(3) 意見交換等

受講生から介助やバリアフリーについての質問を受け、講師からその回答をしたり、教室の感想をお聞きしたりします。



今後の教室に活かすため、簡単なアンケートにご協力をお願いします。

【参考】教室のイメージ(学校向け)

(4) 小学生等を対象とした教室

小学校にバスを持ち込むなどして、小学生等を対象とした教室も実施しています。



教室のイメージ

タイムスケジュール(例)

	1班	2班
9:30	開講式	
	<ul style="list-style-type: none"> ・主催者挨拶 ・研修プログラム等説明 	
9:40	場所名：ターミナル	
9:40	高齢者擬似体験	車いす体験学習
(45分)	<ul style="list-style-type: none"> ・体験学習を実施 (2階～階段～1階～船内にて体験)	<ul style="list-style-type: none"> ・体験学習を実施 (2階～船内～2階にて体験)
10:25	場所名：ターミナル・船内	場所名：ターミナル・船内
	休憩等	休憩等
10:35	車いす体験学習	高齢者擬似体験
(45分)	<ul style="list-style-type: none"> ・体験学習を実施 (2階～船内～2階にて体験)	<ul style="list-style-type: none"> ・体験学習を実施 (2階～階段～1階～船内にて体験)
11:20	場所名：ターミナル・船内	場所名：ターミナル・船内
	休憩等	
11:30	座学「旅客船事業者に求められること」	
(40分)	交通エコロジー・モビリティ財団	
12:10	場所名：ターミナル	
12:10	閉講式	
(20分)	<ul style="list-style-type: none"> ・体験者の感想 ・講評 ・質疑応答 	
12:30	場所名：ターミナル	

九州運輸局「バリアフリー教室」開催状況

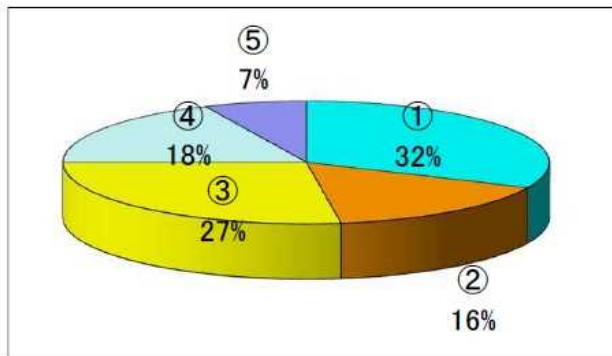
R2. 3. 31現在

	開催年月日	開催場所	参加者等
1～4	平成14年 1月27日	西鉄福岡天神駅、JR駅3カ所	公募による 181名 富野中1年生 66名
5～10	平成15年10月26日	長崎港旅客船ターミナル、JR駅4カ所 西鉄二日市駅	公募による 107名 小学5年生 55名 中学1年生 70名 中学2年生 55名
11～14	平成16年度	JR鹿児島中央駅他3カ所	甲南中2年生 88名、他242名
15～24	平成17年度	日向学院中学校他9カ所	中学1年生160名 他367名
25～29	平成18年度	厳原港旅客船ターミナル他4カ所	厳原小6年生 63名 他138名
30～38	平成19年度	宮崎空港ターミナル他8カ所	赤江中3年生 51名 他568名
39～46	平成20年度	嬉野温泉和楽園（嬉野市）	旅館組合従業員 28名 他272名
47～53	平成21年度	国営吉野ヶ里歴史公園 他6カ所	東脊振小4年生 81名 他304名
54～57	平成22年度	盲導犬協会訓練センター（糸島市）	昭和自動車バス従業員20名 他67名
58～63	平成23年度	九州技術事務所	小学生53名 他242名
64～70	平成24年度	福岡市営地下鉄天神南駅	福岡市営地下鉄駅務員20名 他276名
71～80	平成25年度	西鉄花畑駅（久留米市）	西鉄電車駅務員22名 他657名
81～85	平成26年度	鹿児島新港旅客ターミナル（鹿児島市）他3カ所	離島航路事業者船員36名他272名
86～93	平成27年度	佐世保港（佐世保市）	離島航路事業者船員及び運航担当他279名
94～102	平成28年度	博多港博多ふ頭（福岡市）	旅客航路事業者船員及び運航担当44名他432名
103～118	平成29年度	フェリー「ひびき」（北九州市、新門司）	旅客航路事業者船員及び運航担当57名他987名
119	平成30年 9月11日	砂取小学校（熊本市）	小学4年生78名
120	平成30年10月10日	内野小学校（福岡市）	小学4年生55名
121	平成30年10月11日	山ノ内小学校（熊本市）	小学4年生111名
122	平成30年11月13日	香椎小学校（福岡市）	小学4年生106名
123	平成30年11月22日	大分港（大分市）	旅客航路事業者船員及び運航担当38名
124	平成30年11月27日	西陵小学校（福岡市）	小学4年生35名
125	平成30年11月28日	脇山小学校（福岡市）	小学4年生17名
126	平成30年12月 5日	金山小学校（福岡市）	小学4年生51名
127	令和 1年 8月21日	かごしま県民交流センター（鹿児島市）	一般乗合旅客事業者及び従業員12名
128	令和 1年 9月 4日	大分港（大分市）	旅客航路事業者船員及び運航担当35名
129	令和 1年10月 4日	鎮西小学校（田川市）	小学4年生63名
130	令和 1年10月17日	若菜小学校（飯塚市）	小学4年生62名
131	令和 1年11月 6日	香椎小学校（福岡市）	小学4年生114名
132	令和 1年11月26日	西都小学校（福岡市）	小学4年生153名
133	令和 1年11月29日	脇山小学校（福岡市）	小学4年生21名
134	令和 1年12月 4日	椋本小学校（飯塚市）	小学4年生54名
135	令和 2年 2月27日	博多ふ頭第2ターミナル	旅客航路事業者船員及び運航担当50名

【参考】アンケート結果

旅客船事業者

教室に参加して良かった点はありましたか？



①バリアフリーに関するものの方の見方や考え方が深まった	28
②旅客船ターミナル、船舶などの施設において問題があることがわかった	14
③バリアフリーの必要性が理解できた	24
④介助方法や知識の習得ができた	16
⑤その他	6

※複数回答・未回答あり

88

⑤その他

- ・普段の生活において、車いすに乗って移動することなどなく良い体験となった。高齢者の体験もすることでこれからのサービス向上に良い体験だった。
- ・船舶において、バリアフリーの重要性がわかった。
- ・高齢者や体の不自由な体験をとおして改めて大変さがわかった。
- ・高齢になると細かな作業が難しくなる体験ができ、高齢のお客様への対応を変える必要があるとわかった。
- ・車いすを体験し、障がい者の方の目線でバリアフリーの必要性が理解できたと思う。
- ・島民の方々も高齢化してきており、生活の足である船舶のバリアフリー化はしていかなければいけない課題だと再認識した。
- ・ソフト面、ハード面において課題があることが分かり、今後、社内で検討しなければいけないことがわかった。

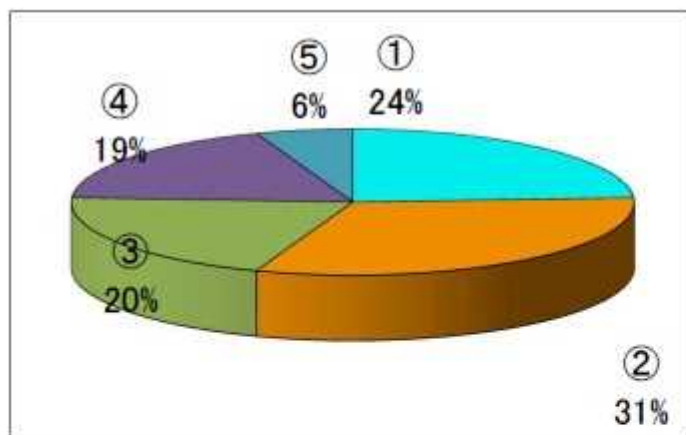
業務以外の日常生活の中でバリアフリーに関して、意見がありましたら記入してください
 (例) 駅や道路のバリアフリー化、バス、タクシー、公共施設等々 具体的に書いて下さい。

- ・階段の角度を緩やかに出来たら良い。
- ・段差が多いな障害になる。
- ・勤務しているフェリーも段差が多いのでスロープなどの設置が必要。
- ・地方においては、全てにおいて、まだまだバリアフリー化が遅れていると思う。
- ・案内等の掲示や視覚化、音声案内など社会の構造が進んでいない。言語・言葉というものを考えていけないといけない。
- ・東京オリ・パラがあるというだけで、2020年までバリアフリーに対する国民の意識が見られる。オリ・パラでどのような課題がでるのか、それで終わりのような気がする。また、最近は、自己責任という声も上がりはじめており、社会の右傾化がみられる。
- ・もっといろいろな場所でバリアフリー化が進むと良いと思う。
- ・電車やバス等の優先席に座ることがよくあったが、高齢者疑似体験をとおして、本当に必要な人が利用すべきと感じた。

【参考】アンケート結果

旅客船事業者

業務の中で、バリアフリーに関して困ったことはありましたか？



①自分たちだけでは対応できないことがある	13
②案内や介助の方法が分からない場合がある	17
③声のかけ方が分からない	11
④利用者とのコミュニケーションが取りにくい	10
⑤その他	3
※複数回答・未回答あり	54

①自分たちだけでは対応できないことがある

- ・車いすを抱えて階段を上がる際に人手が必要。
- ・エレベーターが必要である。
- ・ハード面(船舶の構造、改造費用)

⑤その他

- ・体重がある人の車いす対応はかなり力がある。ギア付きの車いすがあればよい。
- ・障がい者の方への声かけ、対応は、どこまで踏み込んで良いのか難しい。
- ・大型船舶はスペース的にバリアフリー化に対応できると思うが、小型船舶では無理な場合が多く、バリアフリーの必要性については理解しているが対応できないのが残念。